

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 8日

徳島県知事 殿



提出者

住 所 徳島市論田町新開66-100

氏 名 株式会社 アワケン

代表取締役 岡田 勝典

電話番号 088-663-4150

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

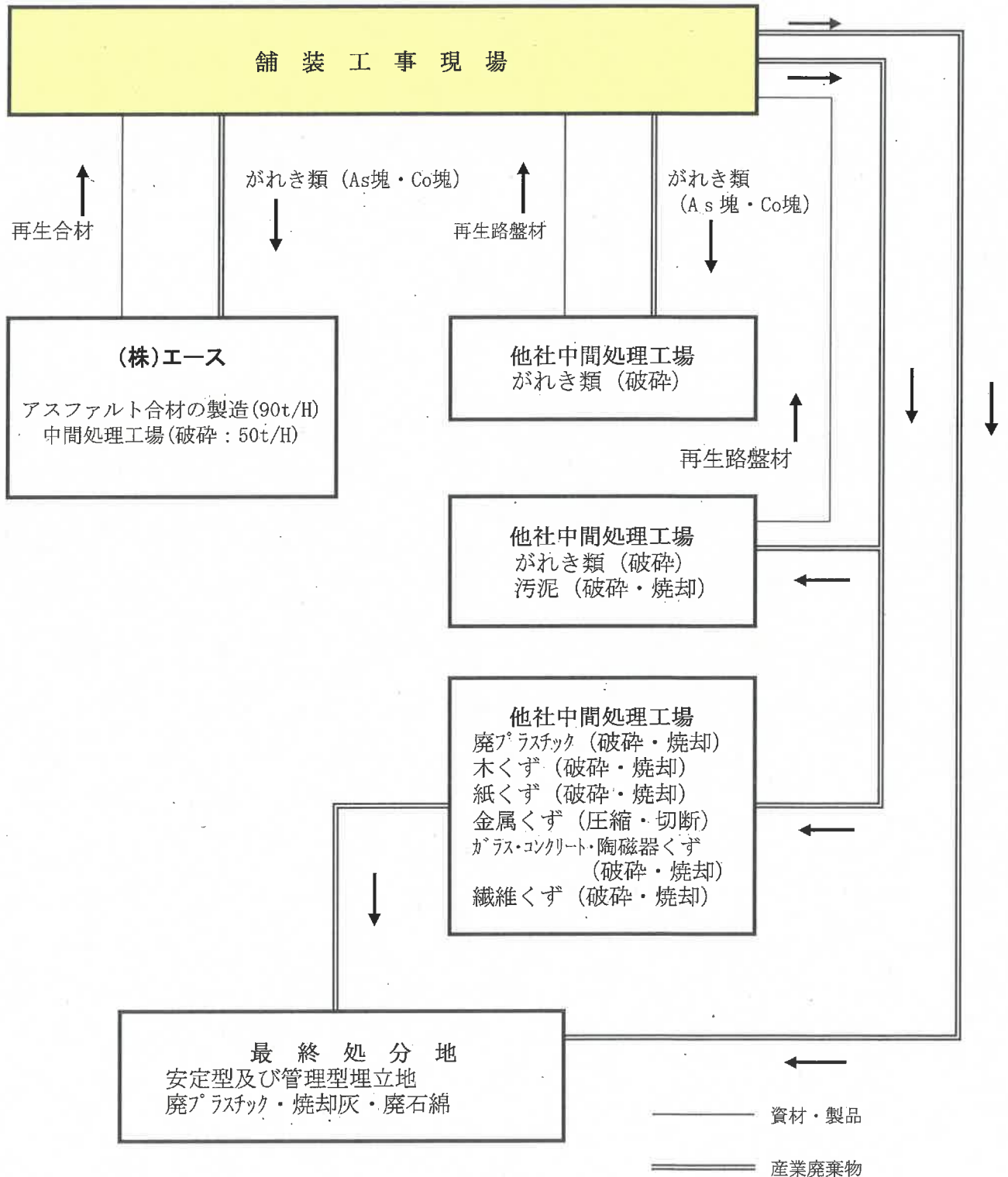
事業場の名称	株式会社 アワケン
事業場の所在地	徳島市論田町新開66-100
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	6：総合工事業
②事業の規模	前年度売上げ 3億5700万円
③従業員数	24人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり（産業廃棄物収集運搬車両で産業廃棄物処理業者へ搬入する。）

前年産業廃棄物排出量： 1891.97 t

別紙

産業廃棄物処理の一連の処理の工程

産業廃棄物発生処理工程



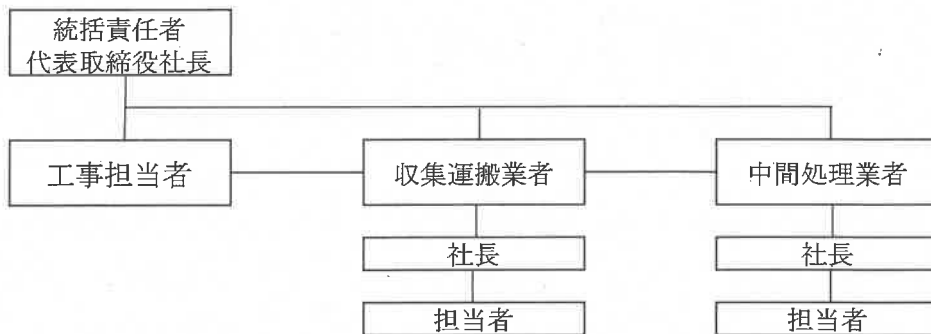
優良認定業者への持込を優先する

4. 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
 (1) 責任者及び管理組織図

統括責任者	代表取締役社長
廃棄物担当	工事担当者
役	環境管理委員会 ○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的など 廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長：代表取締役社長 ・委員：各工事担当者
	廃棄物処理統括責任者 ○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認 ○社員、関連会社に対する教育・啓発
割	廃棄物管理工事担当者 ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理表の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○その他関係する事項

株式会社アワケン 廃棄物管理組織図

各工事担当者・収集運搬業者・中間処理業者と協力し、廃棄物処理に対応するための横断的な組織を編成する。



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別紙管理体制図のとおり。		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	がれき類
	排出量	1,888.16 t
	(これまでに実施した取組) 当社の場合工事受注量により、産業廃棄物の排出量が増減する。 前年度はコロナ禍でも、工事受注量等の減少が小さく、 計画並みの排出量になった。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	がれき類
	排出量	1,900.00 t
	(今後実施する予定の取組) 前年度並みの公共工事受注に注力し、また、民間工事受注にも注力。 産業廃棄物排出量は、前年度並みで計画、中間処理工場に搬入し 再資源化することに注力。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類・木くず、紙くず、廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず、汚泥はそれぞれ分別し処理業者に委託する。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 全従業員に分別を周知徹底する。	

当社の場合工事受注量により、産業廃棄物の排出量が増減する。
前年度は工事受注量等の増加により排出量が増加した。

(今後実施する予定の取組)
前年度並みの公共工事受注に注力し、また、民間工事受注にも注力。
新型コロナウイルスの5類移行にともない産業廃棄物排出量は、
前年度の6%増で計画、中間処理工場に搬入し再資源化することに注
力。

(今後実
前年度並
新型コロ
前年度の1
力。

別紙(第2面関係)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック類	金属くず
排出量	1.21 t	0.00 t	2.89 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	廃油	繊維くず	汚泥
排出量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック類	金属くず
排出量	1.00 t	1.00 t	2.00 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	廃油	繊維くず	汚泥
排出量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1.00 t

施する予定の取組)

々の公共工事受注に注力し、また、民間工事受注にも注力。
ナウウイルス(オミクロン株)等により産業廃棄物排出量は、
5%減で計画、中間処理工場に搬入し再資源化することに注

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト殻)	がれき類(コンクリート殻)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 再生アスファルト混合物及び再生路盤材を使用する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト殻)	がれき類(コンクリート殻)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 再生アスファルト混合物及び再生路盤材を使用する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト殻)	がれき類(コンクリート殻)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト殻)	がれき類(コンクリート殻)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

別紙(第3面関係)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類				
自ら熱回収により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類				
自ら熱回収により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t

別紙(第4面関係)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t
産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t
産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック類	金属くず
全処理委託量	1.21 t	0.00 t	2.89 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0.90 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油	繊維くず	汚泥
全処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (アスファルト殻)	がれき類 (コンクリート殻)
	全処理委託量	1800 t	100 t
	優良認定処理業者への処理委託量	100 t	10 t
	再生利用業者への処理委託量	1700 t	90 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>がれき類は再生利用業者での再資源化を基本とする。 がれき類以外は優良認定業者及び再生利用業者に委託し、環境負荷の少ない方法で適正に処理する。</p>			
※事務処理欄			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト殻)	がれき類(コンクリート殻)
	全処理委託量	1,864.26 t	23.90 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	1,864.26 t	23.90 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 優良認定業者及び再生利用業者に委託し、環境負荷の少ない方法で適正に処理する。 排出場所により、優良認定業者に委託できない場合がある。(近くに優良認定業者がない。)			

別紙(第5面関係)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画

産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック類	金属くず
全処理委託量	1.00 t	1.00 t	2.00 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	1.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油	繊維くず	汚泥
全処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t